

平成25年度第3回PF-UA運営委員会議事録

日時：平成26年3月18日 12:10～12:50

場所：つくば国際会議場エポカル 小会議室303号室

出席者：佐藤 衛（会長）、腰原伸也、朴 三用（戦略）、篠原佑也、伊藤孝憲（共同利用）、植草秀裕（広報）、田中信忠（会計）、清水敏之（行事）、近藤 寛（教育）、足立伸一、千田俊哉、村上洋一、熊井玲児、高橋敏男、奥田浩司、船守展正、佐々木聡、高橋嘉夫、鈴木昭夫、今井基晴、田淵雅夫、尾嶋正治、栗栖源嗣、三木邦夫、雨宮慶幸（運営委委員）、木村（PF オブザーバー）

- ・佐藤会長から運営委員会の進行および総会の定足数の確認について説明があった。

- ・庶務幹事報告（佐藤会長）

ボンベ撤去に関する要望書を提出し、施設側から2014年1月のユーザーの集いで回答があったことが報告された。サイエンスフェスタ無料化にともなう財政基盤強化として、5社から展示ブースの協力を頂いているので、多くの参加者にブースを訪ねていただきたい旨の要請があった。

- ・会計幹事報告（田中幹事）

平成25年度途中までの会計報告があった。収入は予定通りであった。支出はPF-UA、およびフェスタについてほぼ予算どおり執行されている。事業費、会議費、通信費の残余は次年度で対応したい。運営委員会はこの会計を承認した。

- ・広報幹事報告（植草幹事） PF-UA ロゴマーク作成の経緯について報告があった。ロゴマークは下部に文字入り、文字なしの2つを使い分けることができる。運営委員会でこの2つのロゴマークを承認した。

- ・共同利用幹事報告（篠原幹事） P型課題の規定変更について報告があった。2013年末にユーザーグループを通じてビームタイム削減に対するアンケートを行った結果について報告があった。年間運転時間は従来4000時間を目処としていたが、2013年度は3500時間、2014年度以降はさらに削減とされている。かなりのユーザーが利用時間の減少を実感しており、その多くが教育・研究に影響が出ると回答している。自由回答として研究、教育への具体的な影響の記述があった。意見として今後の科学の発展への懸念が回答されていた。

- ・選挙管理幹事報告（佐藤会長） 次期会長選挙を実施したことが報告された。運営委員会が三名の会長候補者を推薦し、二名が辞退したため、候補者一名の信任投票となった。Web投票の結果、平井光博先生（群馬大学）が次期会長として選ばれたことが報告された。

- ・行事幹事報告（清水幹事） サイエンスフェスタ開催への協力について謝意が述べられた。

・教育担当報告（近藤幹事） 2014年前期からの大学院院生奨励課題（T型課題）について報告があった。四名の応募があり、三名が採択（うち一名は辞退）された。電子物性、化学・材料分野で各一名が4月から研究を開始する。5月に始まる次回募集への協力要請があった。

・戦略・将来計画報告（腰原幹事・佐藤会長） マシンタイム削減に対して、機構長に要望書（ビームタイム削減に関する緊急アンケート中間結果別添）を提出したことが報告された。BL4Aの運営変更についての経緯説明があった。ユーザー運営化に対する最大限のサポート、今後の同様の事例については早期にユーザーに通知をすることなど5点の要望書を施設に提出したことが報告された。また、放射光科学の将来像への提言の作成の経過について報告があった。